



中山正《蝶の如く》1985 木版画

没後10年

# 中山正 木版画展

星と森の詩美術館 

〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1 TEL 025-752-7202  
<http://www.hoshi-uta-m.jp> FAX 025-752-7203

2024年

8月2日[金]～9月29日[日]

- ▶開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）
- ▶休館日：火曜日
- ▶入館料：一般500円、小・中学生200円 ※団体（20名以上）各50円引き
- ※障がい者手帳（ミライID含む）提示で各100円引き
- ※「大地の芸術祭」パスポート提示で各50円引き【割引併用不可】

没後10年

# 中山正 木版画展

2024年 8月2日[金]～  
9月29日[日]



《ひまわりを抱く》1957 木版画



《午後の放馬》1970 木版画

繊細かつ華麗な彩りで独自の幻想世界を創りあげた木版画家 中山正（1927-2014）の没後10年の展覧会を開催いたします。

終戦直後の1946年、中山は画家になることを決意して上京します。多摩美術学校油絵科は2年で中退しましたが、1950年代初頭には木版画制作を始め、その後「日本版画運動協会」（1949年結成）の会員となっています。

1956年に制作された木版画には、既に中山の特徴のひとつである金属箔の使用が見られます。これは版画のマチエールについて苦心するなかで、東洲斎写楽の雲母刷りの浮世絵との出会いにきっかけがあったといえます。中山はその衝撃を「無機質な光の反射は薄い和紙の上で、十分に心理的な厚みを屈折して見せてくれた」と、後に述懐しています。そして1962年、初めての渡欧の折、アテネの小さなビザンティン美術館でイコンに出会います。金地背景にキリスト教の聖人が描かれたイコン。「写楽の雲母刷りに出会った時のような、同一の視覚体験を追った気がした」といいます。この2度の体験が、金属箔を使うことは単に豪華さを装うためではなく、「光の多様な屈折作用にとまってさまざまな表現効果が生まれる」ことを教えてくれたのです。

また、中山作品には数点の例外を除き、少女・馬・蝶・花のいずれかのモチーフが入っています。少女と馬についていえば、1960年までは風のなかに立つ姿を実在感をもって描かれていますが、1961年以降は中山の理想とするプロポーションに整えられたうえでポーズを取り、画面のなかで独特の存在感を放つようになります。そこでは少女・馬そのものではなく、中山が創り出した幻想世界を表出するモニュメントとして出現しています。その姿が、イコンに準えられる所以ともいえます。

渡欧の折、ヨーロッパ美術の濃密な歴史に圧倒されるなかで中山は「いったい私は誰なのか、何なのか、と突き上げられる思いで、激しく自己のアイデンティティについて迫られたとき、それを探し求めることこそ、私の生涯の仕事ではないか…と自覚するようになりました」と述べています。中山が生涯にわたりその仕事を貫いたことは、今展をご覧いただければより明確になることでしょう。

中山 正 NAKAYAMA Tadashi

1927 新潟県南魚沼郡石打村（現 南魚沼市）に生まれる  
[本名：町田彌]

1946 新潟県高田師範学校中退

1947 多摩美術学校（現 多摩美術大学）油絵科中退

1951 この頃から木版画制作を始める

1953 この頃からリトグラフ制作を始める

1957 以降、油絵、リトグラフ、木版画の個展を東京、イタリア、アメリカで開催

1959 リトグラフ画集『ラッパ手』限定自家出版

1962 主にミラノ（イタリア）に滞在（～'63まで）

1963 リトグラフ画集『騎士のない馬』限定出版  
（バガエニ画廊/ミラノ）

1964 ロンドン、およびバス（イギリス）に滞在（～'65まで）

1970 長野県北佐久郡軽井沢町に転居

1982 木版画集『Tadashi Nakayama, His Life and Work』出版（ヘンドリックス・アート・コレクション/アメリカ）

1989 自選展開催（和光/銀座）'93・2000も開催

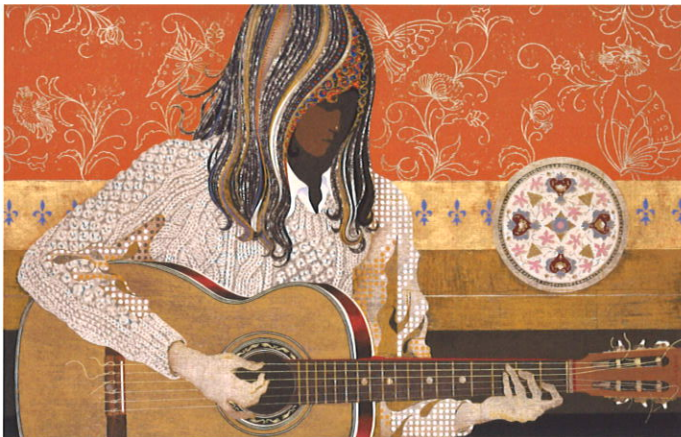
1994 個展開催（今泉博物館/南魚沼市）2010も開催

1999 個展開催（星と森の詩美術館）2002・'07・'11も開催

2011 木版画集『Tadashi Nakayama, His Life and Work, SECOND EDITION』出版（ヘンドリックス・アート・コレクション/アメリカ）

2014 8月20日 逝去

その他 東京国際版画ビエンナーレ展、クラコウ国際版画ビエンナーレ展、ノースウエスト国際版画展、ワシントン・アート・フェア、日本アンデパンダン展、前衛展、CWAJ現代版画展などに出品。多摩美術大学、バス・アカデミー・オブ・アート（イギリス）にて一時期講師を務める。



《私のギター》1975 木版画



《蝶の風》1988 木版画

## 星と森の詩美術館



■ 開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）

■ 休館日：火曜日

■ 入館料：一般500円、小・中学生200円

〒948-0101新潟県十日町市稲葉1099-1 TEL 025-752-7202

FAX 025-752-7203

http://www.hoshi-uta-m.jp

[交通アクセス] ◆ JR飯山線・ほくほく線「十日町駅」より車で10分

● 関越自動車道「越後川口IC」より R117経由25分

● 関越自動車道「六日町IC」より R253経由35分

● 北陸自動車道「柏崎IC」より R252経由50分

● 北陸自動車道「上越IC」より R253経由70分

